

経済学部コース制について 2024

経済学部では、コース制（2 コース）が導入されています。

1. コース制とは

コース制とは、経済学科・経営学科で学ぶ理論をベースにして、福井県の地域資源を活用して理論と実践とをバランス良く学ぶことで、学びの充実を図ることを目的としています。これによって、経済学・経営学の基礎力向上だけでなく、それを応用して課題解決に結びつける能力を高めることで、地域を支える人材の育成を目指しています。

所定の要件を満たした人には3年次終了時に「コース制修了証書」を授与します。

☆データ利活用コース（DU コース）

このコースでは経済・経営に関する課題を発見し、印象論に惑わされることなく、自らデータを収集し、あるいは公表されているデータを入手し、適切な手法を用いてそれを分析する力。そして、なぜそのような結果になるのか原因を解明し、具体的な提案を行う力を修得することができます。

☆フィールドワークコース（FW コース）

このコースでは単に企業などを見学するだけではなく、事前の下調べや課題発見と目標設定、対象となる企業へのアクセスや、調査結果の分析・考察・課題解決への提案とフィードバックなど、一連のプロセスを通じて、実践的な能力を高める学修を行います。

現在求められているのは、決められたことをこなすだけではなく、自分自身で課題を発見し、解決に結びつけるためのプロセスを構築し、実践していく能力(発展的応用力)であると言えます。FW コース、DU コースにおける学びによって、例えば企画立案やプロジェクト推進、その結果を数値化して分析・考察し、客観的に評価が出来るようになることで、企業や公的機関におけるリーダーシップを発揮することに役立ちます。
※なお、コース制を選択した上で所定の条件を満たすと、「ふくい地域創生士」の認定を受けることが出来ます。詳細は、ふくい地域創生士の説明文を参照して下さい。

2. 選択方法

コース制は、希望制であり、2年次の後期に申し込みを受け付けます。定員は、それぞれ20名ずつですので、希望者が多数の場合、それまでに履修した科目の全教科の平均点（ただし2年前期修了時点で40単位以上取得していること。）で順位付けをして、選考します。（2つのコースを重複して選択することは出来ません。）

3. コース制認定要件

コース制の修了認定を受けるためには、以下の条件を満たす必要があります。

- ・ DUコース、FWコース、それぞれの指定科目から20単位の修得
- ・ 3年次後期終了時に、コースでの学びに関する成果を報告

<データ利活用 (DU) コース>指定科目

コア科目：1 単位必修
情報科学 I ①
選択科目 (一般教育科目)：5 単位以上
情報基礎演習①、情報処理基礎演習①、統計処理演習①、情報処理 A～E①、 地(知)の拠点：経営情報学概論①、地(知)の拠点：情報化社会の現在と未来①、 統計学基礎①、プログラミング A～E①、メディア情報処理概論①
選択科目 (専門教育科目)：10 単位以上
統計学①、簿記論 I・II①、経営情報論②、原価計算論 I・II②、経営分析論③ 経済政策②、計量経済学②、環境経済学③、特別企画講座 A～G ☆放送大学提供科目 (単位互換制度を用いて履修できます。) データの分析と知識発見 ('24) (全 15 回)、ユーザ調査法 ('20) (全 15 回) 経済学特講 B・経営学特講 B「地域政策の立案」(2024)

<フィールドワーク (FW) コース>指定科目

コア科目：2 単位必修
社会調査の基礎 ('19) (放送大学・社会と産業コース導入科目、全 15 回)
選択科目 (一般教育科目)：8 単位以上
観光学①、地域特講 A～F①or②、福井の文化と社会①、 地域社会とフィールドワーク A～F ①、福井を学ぶ① ※情報系基礎科目：4 単位上限 情報科学 I ①、情報基礎演習①、情報処理基礎演習①、統計処理演習①
選択科目 (専門教育科目)：6 単位以上
地方財政論③、文化経済学②、生産管理論 I・II③、地域マネジメント論 公益事業論、福祉のまちづくり論②、特別企画講座 A～G、経済学特講 C・経営学特 講 C「行政のリアル」(2024)

※丸数字は当該科目の配当年次。コース指定科目には1年次の配当科目も含まれる。

※専門教育科目については、追加されることもある。その場合は、事前に周知する。

なお、申し込み自体は2年生後期ですが、コース制指定科目は1年生からあります。
コース制を希望する心づもりがある人は、計画的に履修するようにしてください。